



古楽ステージ《第2部》



古楽愛好家が集う、リレーコンサート。歌と古楽器の繊細な音色をご堪能ください。

【日時】2024年10月14日(月・祝) 10:30-12:30

【会場】アクロス福岡 円形ホール(1階)

1. リュート・デュオ T&K

【曲目】岩田耕作編曲: グリーンスリーブズ(「ディヴィジョン・ヴァイオリン」より)

【出演】小阪和子、宮園智子(ルネサンス・リュート)

古楽セミナーには毎年参加している二人ですが、今年は数年ぶりにリュート・デュオで演奏します。関東と福岡の遠距離グループですが、年齢と距離を感じさせない演奏が当面の目標です。

2. あくたリコーダーアンサンブル

【曲目】J.B.ボワモルティエ: 5本のフルートのための協奏曲 第2番 イ短調

【出演】大中スガ子、河村武重、古賀真澄、後藤佳奈、坂本葉子、下平律子、立川浩二、
中村由美子、野村明告、原禎恭、藤田史子、古谷一樹(リコーダー)

故麻生純氏のもとで1970年に活動を開始した、半世紀以上の歴史をもつ福岡市の団体です。古楽音楽祭へは小国町の時代から欠かさずに参加しています。時の流れとともにメンバーは変わりましたが、魅力あるリコーダーアンサンブルの響きへの思いは変わらずにいます。

3. 井貫多賀子 (吾亦紅の母)

【曲目】N.シェドヴィル: ソナタ第6番 ト短調 「忠実な羊飼い」より

【出演】井貫多賀子(リコーダー)、西野晟一郎(チェンバロ)、河本基實(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

今年は参加出来ない娘から背中を押され82歳の母が大胆にもソロで登場します。ヴィヴァルディの「忠実な羊飼い」で知られたこの曲は、実はシェドヴィル作曲と分かったのはご承知の通りです。音楽祭と通底のお二人に感謝して演奏します。ヴェネツィアの雑踏が表現できるでしょうか?あの赤毛の司祭も何処かに紛れているでしょうか?

4. 河本基實

【曲目】C.シンプソン: ディヴィジョン ホ短調

【出演】河本基實、河合初子(ヴィオラ・ダ・ガンバ)、中野洋子(チェンバロ)

クラシックギターからガンバに転向しました。小国、福岡、新福岡の古楽祭などで勉強してきました。

5. 宮本修

【曲目】J.オトテール: エコー

J.Ph.テレマン: 無伴奏フルートのための12のファンタジー より 第7番

【出演】宮本 修(ヴォイスフルート、フラウト・トラヴェルソ)

トラヴェルソもお聞かせできるようになってきたかなと思います。

6. 学びすと春日 リコーダーアンサンブル

【曲目】G.ガブリエリ:カンツォン第2番 G.グアーミ:カンツォン第17番

【出演】入江智恵美、岩城由美子、小井塚まどか、重松晴美、中西直子、服部智子、松谷治美、森本宏美、安成時恵、吉武麻由美(リコーダー)

学びすと春日は春日市の社会教育関係団体で14の講座を自主運営しており、今年で創立31年になります。リコーダーアンサンブルは、小池耕平先生にご指導頂き、ふれあい文化センターで月2回練習に励んでいます。音を重ね、11人でつくるハーモニーを楽しんで演奏したいと思います。

7. Die Zauberblockfloeten

【曲目】A.ヴィヴァルディ:トリオソナタ 第12番 ニ短調 RV63 「ラ・フォリア」

【出演】徳永隆二、安江桜子、渡辺浩行(リコーダー)

旧音楽祭からほぼ毎年参加させていただいて今回16回目となります。浜松、大阪、北九州からこの時期のみ集って結成するリコーダートリオ、今年も楽しく奏でたいです。

8. 福岡リコーダーオーケストラ

【曲目】G.B.グリッコ:カンツォン第4番

【出演】有松紀子、川副こずえ、来嶋紀美子、河野妙子、清水千枝子、下平律子、城幸代、多田なおみ、田中由美子、鶴聡子、野上幸子、坊野洋子、山口実苗、山本クミ、渡邊敬子、坂本葉子(リコーダー)、小池 耕平(指揮)

福岡リコーダーオーケストラは、小池耕平先生ご指導の元、舞鶴を拠点に活動しています。

今年は音楽祭のテーマに沿った17世紀初頭イタリアはヴェネツィアの作曲家グリッコの二重合奏のカンツォーナを演奏します。ガブリエリの系譜に連なるオルガニストですが作曲家としてのグリッコについては詳しい事はわかっていません。

9. 福岡祝祭アンサンブル 古楽セミナー(アンサンブル) Bコース成果発表

【曲目】J.G.de セスペデス:夜が誘う J.アラニェス:チャコーナで大騒ぎ

【出演】岩田悠花、引地希、吉田恵美子(ヴァイオリン)、大中スガ子(ヴィオラ)、白濱茂樹、白濱美佐子(チェロ)、伊藤聡、藤田明子(ルネサンスギター)、小阪和子、宮園智子(リュート)、西山如香(チェンバロ)、村田あすか(リコーダー)、吉田哲雄(フルート)、得丸幸代、三神泉(ホルネット)、宇治美里、緒形次郎、山田一弘(サクバット)、山田夕子(パーカッション)、櫻原典子、田中美和子、細川美津子(ソプラノ)、藤原佐保子(アルト)、長野公宣(テノール)、梶原捷聖(バス)、岩田耕作(講師)

1492年のコロンブスの大西洋横断以降、新大陸にはヨーロッパから、そして奴隷として連れていかれたアフリカの人々によってさまざまな音楽がもたらされました。そして独自の発展を遂げた新大陸の音楽は再び海を渡り、バロック時代のヨーロッパの舞曲に多大な影響を与えたのです。そんなヨーロッパと新大陸の交流によって生まれた音楽の歴史をたどっていきます。